

第41回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 26 年 11 月 28 日（金）19：00 ～ 21：00

場 所：KKR ホテル博多 2 階 シリウス

〒810-0022 福岡市中央区薬院 4-21-1

参加費：1,000 円 募集定員：200 名 Field : A、D

Field A：排尿管理（カテーテル）/ Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険 他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：排泄ケア・認知症

製品紹介「環境除菌・洗浄剤 ルビスタ」（杏林製薬株式会社）

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：武井 実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

講演：『リハビリテーション病院における チームでの排泄ケアの取り組み』

講師：西 千浪 さん（長尾病院 回復期リハビリ病棟 看護師長）

青葉 敏恵 さん（長尾病院 回復期リハビリ病棟 看護師）

脳卒中患者が約 6 割を占める当院には、排泄の問題を抱える方が多数おられます。在宅復帰に向けての患者様や御家族のトイレでの排泄及び排泄動作の自立に対する思いは強く、リハビリ病院として医師や看護師、セラピスト、薬剤師等と共にチームケアに取り組んでいます。今回は、当院におけるチームでの排泄ケア（オムツ外しを含む）の取り組みについてお話したいと思います。

講演：『みんなで支える認知症』

講師：藤木 富士夫 先生（原三信病院脳神経内科 部長）

急増する認知症患者、その受け皿の社会には、対応できる医療資源が十分であるとは言えない。見えている現実を直視できないのは、「見たい物をみてしまう」という人間の特性の裏返しかもしれない。この現状で、私たちが出来る事は、一人一人が自分事として考え、自分事として行動することしかない。そのためには、相手がどのようなもので、どのような対応が我々に可能なのかを考えるしかない。認知症患者に起こり得る BPSD（いわゆる問題行動）、中でも排泄トラブルは、本人のみならず介護者の多大なる負担になる。こうした問題行動へのアプローチを症例をあげて考察したい。

コメンテーター：宮原 あや さん（福岡赤十字病院 看護部 認知症看護認定看護師）

閉会の挨拶：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、杏林製薬株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812